知識構成型ジグソー法での活用

～動画や写真を使って発表しよう！～

取組の難易度	（準備）★ ★ ☆		
	（教員のＩＣＴ活用能力）★ ☆ ☆		
校種・学年	中学校・特別支援学級	教科等	技術・家庭
ICT を活用した学習場面	A1 教員による教材の掲示 B2 調査活動（写真・動画の記録） C1 発表や話合い	領域・分野等	家庭分野 B　衣食住の生活「衣生活」
ICT 機器等の準備等	準備	①提示用大型モニター、指導者用ＰＣ ②学習者用ＰＣ（タブレット端末） ③機器の簡単な操作方法説明資料（写真・動画等）	
	授業	①提示用大型モニター、指導者用ＰＣ ②学習者用ＰＣ（タブレット端末）	

1　事例の概要

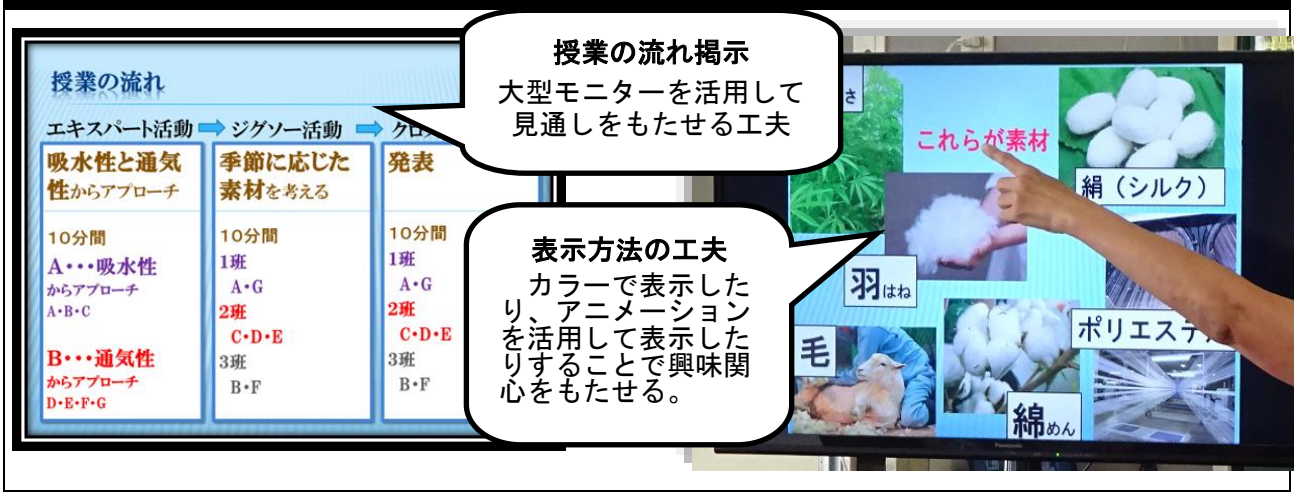
知識構成型ジグソー法を用いた特別支援学級の授業である。エキスパート活動の考えをタブレット端末で記録をし、ジグソー活動では考えを伝え合いながら意見交換をし、クロストーク活動では、大型モニターを活用し発表をする。

※利点○、配慮事項●

2　ICT 活用の利点や配慮事項

○実験動画や写真等のデータのやり取りが自由に行えるので題材に興味を持ち、一人一人が主体的に課題に取り組むことができる。
○大型モニターでの投影とタブレット端末の併用でお互いの考えを共有することが容易となり、話合い活動を深めることができる。
○言葉で伝えることが苦手な生徒もタブレット端末を用いることで対話的な学びにつながる。
●タブレット端末の使い方が十分に理解できていない生徒への配慮が必要。

3　資料

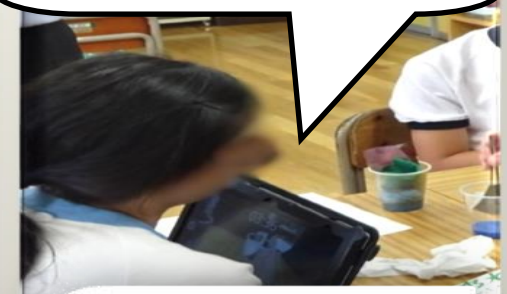


エキスパート活動の様子

～布の特徴を調べる実験中～

相手に伝えることを意識しながら、発表に必要な実験のデータを写真や動画で記録する。

個人でタブレット端末を使用して、意欲的に取り組む。



ジグソー活動の様子

～実験結果から季節に応じた素材を考える～

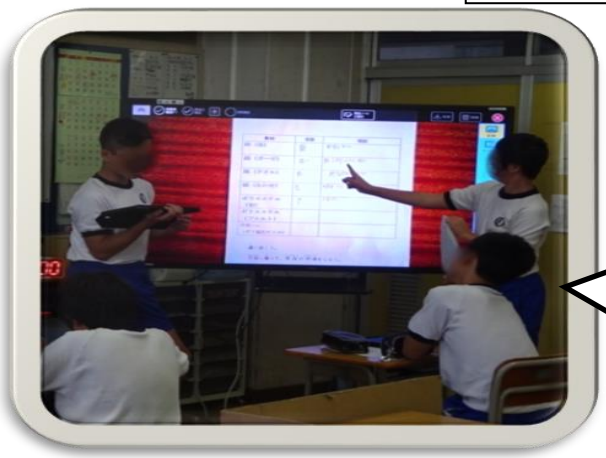
実験や説明の動画を活用して、お互いの考えについて確認する。

お互いが動画を見せ合い、説明や話し合いをする。

動画等を繰り返し見直し共有することができるので、知識がより深まる。

言語で人に伝えることが苦手な生徒も、タブレット端末を用いると主体的に授業へ取り組める。

クロストーク活動の様子 ～発表～



お互いの話合いの結果を発表して共有します。ＩＣＴの活用によって、視覚的にも情報を一瞬で全員が共有できる。

子供たちが主体的に活動できるとても有意義な思考ツールとなる。